

石狩川流域委員会（第12回） 議事要旨

■日 時：平成31年1月29日（火曜）10:00～12:00

■場 所：北海道開発局研修センター2階 第2・3会議室

■出席者：黒木委員長、中村副委員長、井上委員、上田委員、片石委員、定池委員、平澤委員、山田委員（以上8名）

■議題

- ・第10回、第11回流域委員会での意見について

■議事要旨

（1）【資料－1】

①豊平川流域の洪水浸水パターンについて ②下流域の浸水対策について ③粘り強い構造の堤防、治水施設の効果について ④災害時の情報発信等の対応について

- ・防災情報の多言語化について、直訳しても外国人に伝わらない可能性がある。「やさしい日本語」での呼びかけも有効である。（委員）
- ・SNSの活用について、記載してある情報の発信された時刻をSNS本文中に記載することが有効である。（委員）
- ・災害時の自治体との連絡について、どのように実施しているのか。（委員長）
→自治体ヘリエゾンを派遣するとともに、各自治体の首長へのホットラインにより、情報のやり取りを行っている。（事務局）
- ・堤防決壊を想定した動画について、地下鉄で流すなど一般市民が目にする機会を増やすことが有効である。（委員）
→防災訓練やYouTubeで配信を行っている。（事務局）
- ・豊平川流域での降雨パターンについて、どのような雨のパターンが現れやすいのか。（委員）
→降雨パターンの傾向について分析したい。（事務局）

(2) 【資料－1】

⑤河道内樹木の状況、樹木管理について ⑥床止めの魚道機能について ⑦清流ルネッサンスⅡの導水の考え方について ⑧既設治水対策（急流河川特有の対策）の考え方について ⑨ダムへの堆砂状況、露岩の状況等について

- ・ 個々の課題がどのように治水対策に結びつくのか整理する必要がある。（委員長、委員）
- ・ 伐採樹木の有効活用等の機会を活かし、川に触れる機会を増やしてほしい。（委員）
- ・ 伐採した樹木を有効活用した事例を示して欲しい。（委員長）
→チップ化するなどの事例があるため、次回お示ししたい。（事務局）
- ・ 昔の状況がわかる豊平川の写真を資料として示してほしい。（委員）
- ・ 土砂の問題について、しっかり現状分析してほしい。（委員長、委員）
- ・ 上流の帯工について、サケの産卵床への影響も慎重に判断してほしい。（委員）
- ・ 札幌の地下水について、塩水を引き込んだら使えなくなる危機的状況を認識してほしい。
（委員長）

(3) その他

- ・ 次回は2、3月を想定しているが、詳細は調整させていただきたい。（事務局）